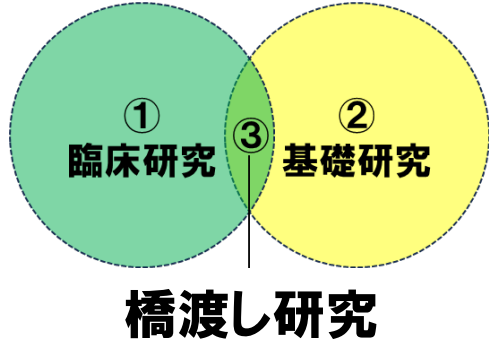


オープンラボ7(4階)

疾病治療学研究室



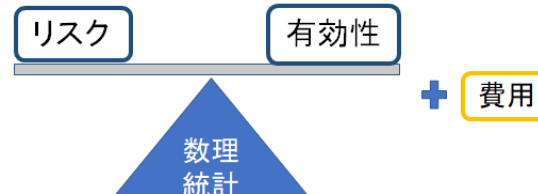
機能形態・病理学研究室

身体の中の状況を
自分の目で確認する



薬剤疫学・医療経済学研究室

薬のリスクベネフィット+経済性



Keywords

薬物治療学研究室

院内製剤・改良
品質・臨床評価



地域社会薬学研究室

地域医療・チーム医療



実務実習センター

臨床に強い
薬剤師



英語研究室

医学・薬学英语
教養



4階オープンラボ フロアの概要説明

- 医療系の教育・研究をする教員が集まっている場所です。
- 研究室としては 機能形態・病理学、医療社会薬学地域社会薬学、薬物治療学、疾病治療学、医療統計学などと、薬学英語を6年間担当してくださる英語学があります。また実務実習センターといって病院実習を担当する部門もあります。
- いずれの研究室も、病気の実態やそれに関連する治療薬の研究、また薬剤師が実際に関わる仕事に必要なことについて教育や研究を行っています。
- 医療の様々な段階で「病気を理解して有効な治療を行っていく」ことについて教育を担当している教員達が、それに関連する研究も行っているフロアです。

**学生がフロアに入りやすい雰囲気
それが、4階オープンラボです**

疾病治療学研究室 Disease Therapeutics

定本清美 教授 浦 裕之 助教

適切な薬物治療を提供するための科学的根拠を創出するために、
以下のような研究に取り組んでいます。



リウマチ患者の疫学調査



新しい薬剤包装の開発



てんかん薬物療法に関する研究

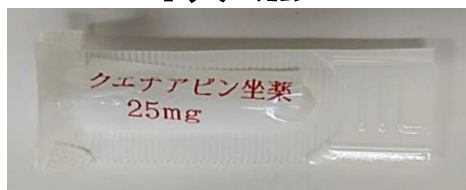
薬物治療学研究室 Pharmacotherapeutics

佐藤淳也教授 田中 怜助教

せん妄治療薬の坐薬製剤化

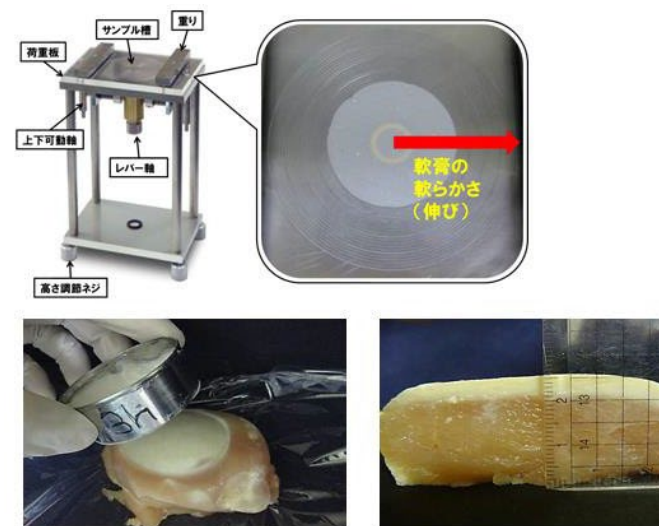


飲めない
誤嚥



坐薬化

皮膚腫瘍性自壊創軟膏製剤の改良



Q: 皮膚腫瘍性自壊創とは？

A: 皮膚がんが壊死した部位を指します。切除では大出血するため、軟膏で少しずつ固めて取り除きます。

病院薬剤師による院内製剤という解決方法を研究

機能形態・病理学研究室

Functional Morphology and Pathology

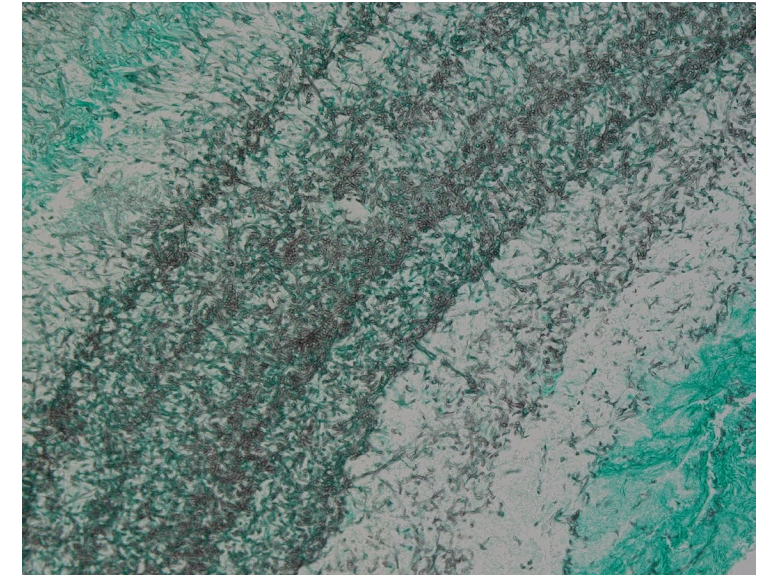
**病理は
病気を自分の目で確かめる学問です！**

若山 恵 教授

真菌とその生体内病変を解析することにより、菌種の診断およびその生体内での相互作用の役割について研究しています。



**ヒト副鼻腔内での層状の粗密がある糸状菌の菌塊。
このような構造はどうしてできるのでしょうか？**



地域社会薬学研究室 Community Pharmacy

竹内尚子 准教授

地域社会薬学教室では、在宅医療、精神科医療などにおける薬剤師の役割や医師をはじめとしたスタッフとの連携ツールについて研究しています。

在宅訪問：チーム医療

●薬剤師

地域の医療・介護の専門家とチームを組んで取り組みます



●医師



●看護師



●ケアマネジャー



●介護・福祉スタッフ



●管理栄養士



●リハビリ専門職
(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士など)



●臨床心理士



服薬情報提供書		報告日	年	月	日
報告者: 氏名 〒番号 住所 電話番号	報告先: 氏名 〒番号 住所 電話番号 FAX				
患者様の服薬情報について、下記の内容をご提供いたします。					
患者ID: 性別 年齢	疾患名 発症年月 病名 病期	服薬日数 服薬回数 服薬時間 服薬方法 その他	服薬開始日 服薬終了日 服薬継続中	服薬中止理由 服薬中止日	服薬中止理由 服薬中止日
【留意事項】 ① 服薬情報提供書は、患者様の個人情報として取り扱われます。 ② 服薬情報提供書は、患者様の個人情報として取り扱われます。 ③ 服薬情報提供書は、患者様の個人情報として取り扱われます。 ④ 服薬情報提供書は、患者様の個人情報として取り扱われます。 ⑤ 服薬情報提供書は、患者様の個人情報として取り扱われます。					
報告日 年 月 日 報告者					



実務実習センター Practical Training Center

鳥越一宏 准教授 尾関あゆみ 講師

薬剤師ができる社会貢献とは



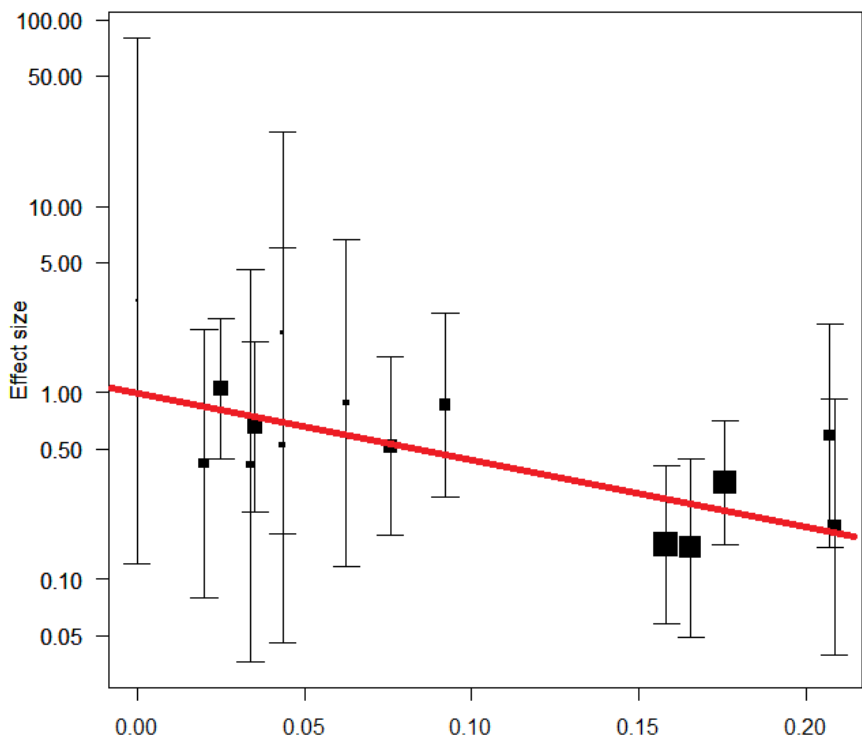
かかりつけ薬剤師として、**地域住民の健康増進**を支援する
がん治療や災害時の医療救護活動など、**チーム医療**に参画する
患者さんの声と薬学の知識を統合して、**新薬の開発**に携わる

実務実習センターは、事前学習、薬局・病院実習のコーディネートやサポートを通して、**臨床薬学**を学ぶ学生が効率的に知識・技能・態度を理解し、身につけるための支援を行います。

薬剤疫学・医療経済学研究室

Pharmacoepidemiology and Health

メタ回帰分析事例



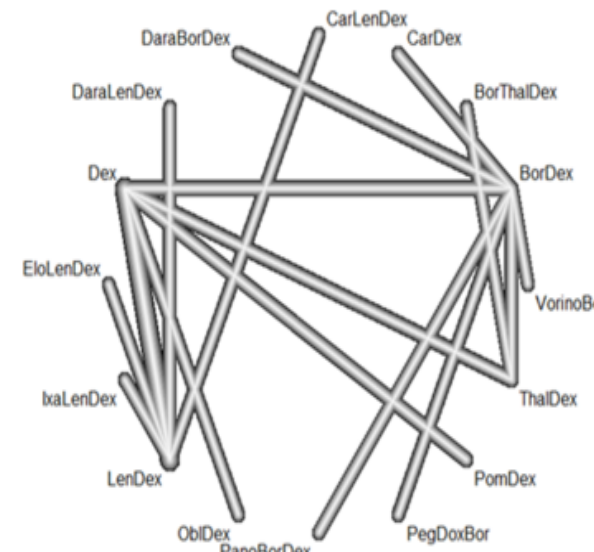
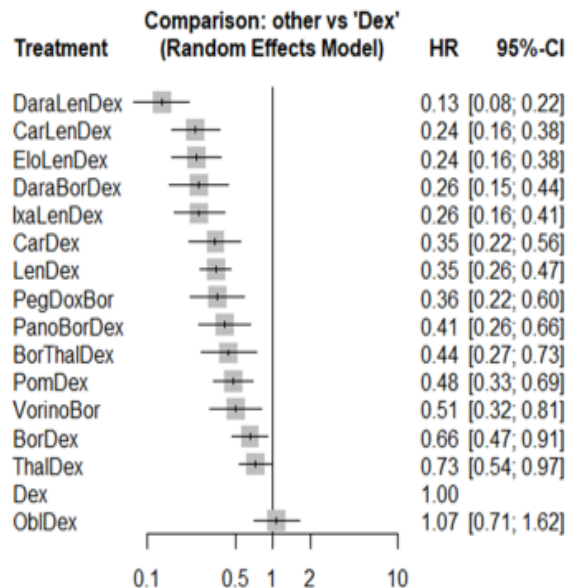
対照群での真菌症の発症率

Kanda Y, et al. Prophylactic action of oral fluconazole against fungal infection in neutropenic patients. A meta-analysis of 16 randomized, controlled trials. *Cancer*. 2000;89 (7) :1611-25.のデータから再現解析結果

古屋博行 教授

ネットワークメタアナリシス事例

再発・難治性多発性骨髄腫に対する治療薬の比較



van Beurden-Tan CHY, Franken MG, Blommestein HM, Uyl-de Groot CA, Sonneveld P.

Systematic Literature Review and Network Meta-Analysis of Treatment Outcomes in Relapsed and/or Refractory Multiple Myeloma. *J Clin Oncol*. 2017 Apr 20;35(12):1312-1319.のデータから解析を行い再現した結果

英語研究室 English

須田篤也 教授

- 4階のラボ内にある英語研究室では、薬学部で行われる英語の授業全般を担当しています。(実験はしていません)
- 2024年度は、必修科目として「総合英語IA/IB」「総合英語IIA/IIB」「英会話A/B」「科学英語」を行っています。
- どの授業も医療や薬に関する内容の英語を勉強します。
- 1年生の授業から疾患の名称や体の部位の名称など、高校の英語の授業では見慣れない英語表現をたくさん覚えることになります。2年生の授業では、さらに専門性を深め、具体的な疾患に関する内容の英文を読みます。そうした知識を土台にして、3年生の授業では、薬品の注意書きを英語で表現する練習をします。



4階オープンラボは、学生の自由な発想を応援



臨床系教員と薬学生が作った

薬学かるた

欠乏すると
壊血病を引き起こす
命の種 **ビタミンC** の恵み

